道しるべ

第7号
平成22年12月

長崎大学工学部　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局

点検実習を行ないました。

11月11日（木）、１２日（金）に下五島、11月18日（木）、１９日（金）に大村の2地区で『コンクリート・鋼構造点検実習』を開催しました。下五島地区では受講生や認定者などを含め11名の参加があり、下五島周辺の橋梁を対象に実施しました。また、大村地区においては8名の参加があり、諫早から大村周辺の橋梁を対象に実施しました。

五島地区の点検実習では長崎大学と「社会基盤のメンテナンスに係る地域人材育成に関する協定」を締結している岐阜大学社会資本アセットマネジメントセンターのスタッフとＭＥ（メンテナンスエキスパート）の方々や、東京都、東京大学からも実習状況の見学などもあり、ますます道守活動が全国展開していく手ごたえを強く感じました。

下五島・大村両地区に講師で来られた外部講師の上阪様、阿部様に点検のポイント等の話をしていただき、参加された皆様は大変熱心に耳を傾けられ、また実習中も点検や対策についての質疑などもあり活気ある有意義な点検実習となりました。

下五島会場

点検実習の様子

コンクリート橋の実習風景

岐阜大学のみなさん

左から、ＭＥ加藤氏、熊田氏、
沢田先生、村上先生

大村会場

諫早での点検実習の様子

コンクリート橋の点検実習風景

鋼橋の点検実習風景

※ 実習は、現場の提供等、長崎県および各市町の協力のもと行っております。

現場実習への参加は道守認定後の活動内容（※1）のひとつであり、H20～21年度道守、特定道守、道守補・道守補助員認定者の方は更新ポイントにもなります。

（※1）道守認定後の活動報告のお願い

平成22年分の道守認定後の活動内容を更新ポイント用紙に記載して**12月末まで**にセンターに報告をお願い致します。更新ポイント用紙は、道守養成ユニットHPからダウンロードできます。記載方法等ご不明な点は、センターまでお問い合わせ下さい。

※H20～21年度認定者の皆様には活動報告案内と更新ポイント用紙を同封しております。

軍艦島での調査報告

インフラ長寿命化センターでは道守講座の点検演習で実施している非破壊検査機器や最先端機器である3Dレーザスキャナを用いて、今話題の軍艦島の構造物の調査に協力しています。

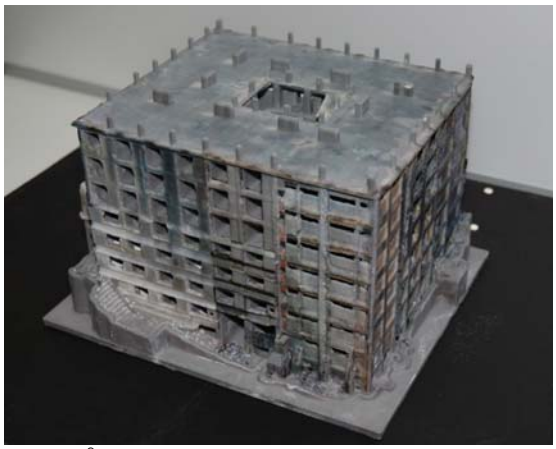
今年2月に、長崎市と連携のもと軍艦島内の30号棟（日本最古の鉄筋コンクリート構造物）、65号棟（軍艦島内最大のRCアパート）の3D計測を行い、完成度の高い3Dモデル化に成功しました。今年10月には、島内全域の3D計測及び計測した3Dデータを利用して、3Dプリンターにより軍艦島内の30号棟の模型製作を行いました。

また、10月11日（月）には、長崎市の要請により、端島・高島炭坑の文化財指定に向けた調査・検討を進める「端島炭坑等調査検討委員会」（会長：岡田保良国士舘大学教授）で、“軍艦島の3Dレーザ計測およびそのデータから作製した模型”について紹介し、委員の先生から高い評価を受けました。その時、同席されていたNBCの報道陣からも注目していただき、11月12日に報道センター（NBC）の特集として、軍艦島の3D計測が取り上げられました。

※上陸は、長崎市の許可を得て行ないました。

３D計測状況

３０号棟の３D計測データ



3Dプリンターで作成した３０号棟模型
（縮尺：1/150）

取材される松田センター長（少し緊張気味！?）

平成 22 年度の全ての講義を終了しました

１１月１９日の講義をもちまして平成２２年度の全てのコース（道守、特定道守、道守補（前・後期）、道守補助員）の講義を終了いたしました。１２月１０日と 17 日に道守補後期コース、12 月 11 日に道守コースの認定試験を予定しており、現在受講生が試験に向けて勉強されています。今回、道守補（後期）コースで新たな試みとして、離島などの遠隔地での開催をＤＶＤ講義により実施しました。

・ＤＶＤによる講義の様子（五島）

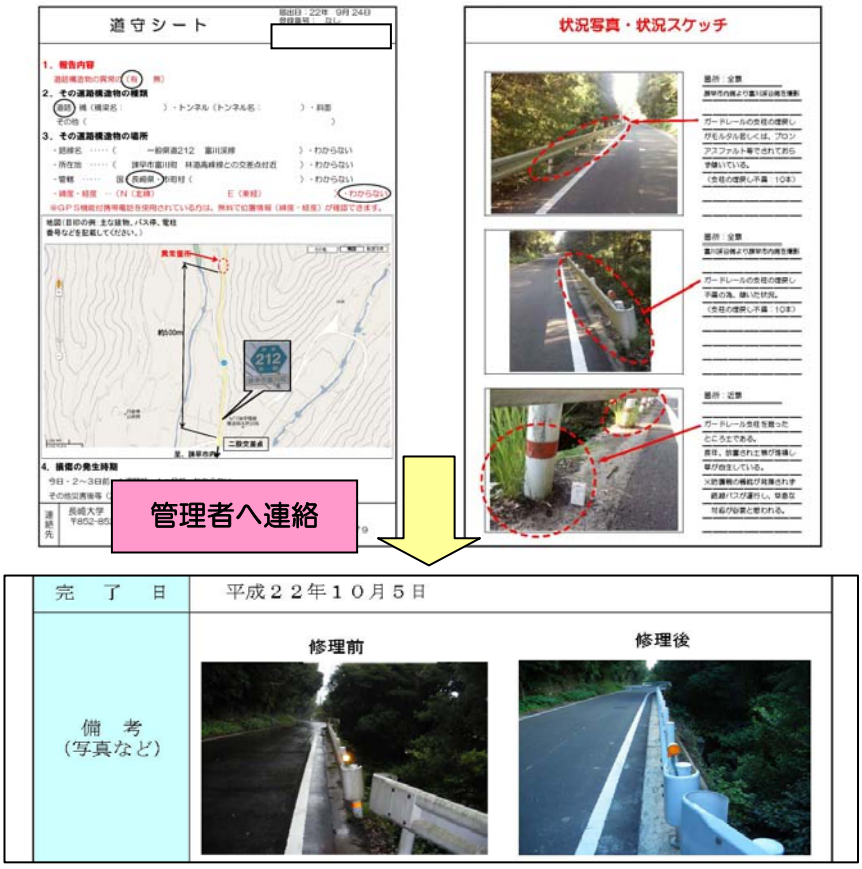
認定後の活動状況

本年度は、認定後の活動の一環である道守シートの提出が 11 月現在までに、２９件と多くありました。道守講座を修了され方の皆さまが熱心に活動されている証です。これからも積極的な道守シートの作成と提出をお願いします。

地区別道守シート提出件数

地区名	全体	橋梁	道路	斜面・トンネル	道路付属物	地区名	全体	橋梁	道路	斜面・トンネル	道路付属物
長崎市	１２	7	2	2	1	北松	1	1			
西海市	2	1	1			南島原市	2	2			
佐世保市	7	3	2	1	1	壱岐市	2	1			1
五島市	1			1		諫早市	2	1			1

道守シートの紹介



平成 22 年度道守補助員コース受講者の辻様から道守シートが届きました。本講座を受講され、すぐに県道のガードレールの変状について報告があり辻様の道路維持に対する熱意を強く感じました。今後とも辻様のご活躍を期待したいと思います。

また、提出していただいた道守シートに対して迅速な対応をしていただいた、道路管理者である県央振興局道路第一課様にも感謝するとともに今後ともますますのご協力をお願い致します。

道守のみちのり(9月初旬～11月下旬)

当センターの主な活動内容を紹介します。

10/09/01 土木学会平成 22 年度全国大会で成果発表
10/09/10 （独）科学技術振興機構　清水氏、荒巻氏、岸田氏と打ち合わせ
10/09/24 特定道守プロジェクト演習(ワークショップ形式)を実施
(長崎県　高西氏、浦本氏、外部講師山根氏)
10/10/01 特別講演開催(名古屋大学　山田健太郎先生、
(独)土木研究所　花井拓氏)
10/10/02 対馬地区にて道守補助員養成講座開催
10/10/07～08 ながさき建設技術フェア 2010 に出展、話題提供
10/10/07 岐阜にて岐阜大学主催のシンポジウム
「まじめなコンクリートが守る」に参加
10/10/08 中間ヒアリング(JST 東京支部)にて 3 年目までの進捗について報告
10/10/08 道守補(後期)コースを、五島、大村会場にて開催
10/10/11 第二回端島炭坑等調査検討調査委員会に参加
10/10/14 道守総合演習を実施(長崎県　金子氏)
10/10/20 日本風景街道「ながさきサンセットロード」
地域連絡会議（長崎地区）に参加
10/11/06 特定道守コース認定試験
10/11/12 道守補（後期）コース五島会場終了
10/11/19 道守補（後期）コース大村会場終了

作成者の一言

事務担当の松永です。今回の道守補(後期)コースは、初めての試みとして、DVD 講義を実施しました。11 月 11 日～12 日の五島市における現地点検演習には、私も同行させていただきました。この時期には珍しく黄砂が飛んだ日でしたが、五島の海岸線を走りながら、同じ長崎県内でもまた違った自然を満喫することができました。受講生の皆様の真剣なまなざしを身近に感じ、語らいがあり、道守ファミリーの広がりを実感し大変嬉しく思いました。道守養成が始まってからはや 3 年が終わろうとしています。受講生、道守認定者が増えていく中、道守つながりのこのご縁を大切にしながら今後もインフラ長寿命化センターで頑張っていきたいと思っております。

問合わせ先

長崎大学工学部　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局
〒852-8521　長崎市文教町 1 番 14 号　TEL　095-819-2880　FAX 095-819-2879
Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp　URL: http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori

振興調整費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術振興調整費で運営しています。